

2020年6月度情報交換会

日時：2020年6月24日（水）14:00～

【発表内容】

1. **本学教員が「学術賞」を受賞しました**

スルトノフ・ミルゾサイド教授が日本経済政策学会の学術賞を受賞しました。

2. **学生団体Liga フードロス削減チーム「フードパントリー」開催について**

食品ロス削減に取り組む本学学生グループが、7月7日に学生を対象とした食品の無償譲渡会「第1回フードパントリー」を開催します。

3. **【大学院事務室】**

- ・令和2年度 秋学期大学院入学生募集（出願受付）について
- ・令和2年度 大学院オープンキャンパス開催について
- ・令和2年度 大学院履修証明プログラム「ハッピーキャリアプログラム」受講生募集について
- ・本学大学院非常勤講師の著書出版について
小地沢将之氏（本学大学院非常勤講師・元地域共創センター長）が著書『まちづくりプロジェクトの教科書』を出版しました。

4. **「ボランティアコーディネーション力検定3級」の開催について**

※次回の情報交換会は 2020年7月29日(水)の予定です。

お問い合わせ

東北公益文科大学 共創センター 進藤

TEL) 0234-41-1115 FAX) 0234-31-2082

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2020年6月24日
東北公益文科大学

本学教員の日本経済政策学会 「学術賞」受賞について

5月23日に開催された日本経済政策学会の全国大会総会にて、本学の国際教養コース教授 スルトノフ・ミルゾサイド が2019年度「学術賞」を受賞しました。

<受賞論文タイトル>

Sultonov, M. (2020). The causality relationship between remittances and the real effective exchange rate: the case of the Kyrgyz Republic. *International Journal of Economic Policy Studies*, 14(1), 167-177. (キルギス共和国における送金と実質実効為替レートの因果関係について)

※日本経済政策学会については別紙1のとおり

※論文概要(日・英)については別紙2のとおり

お問い合わせ

東北公益文科大学 公益学部

スルトノフ・ミルゾサイド

電話) 0234-41-1255

(研究室)

日本経済政策学会について

日本経済政策学会は、1940年に設立された歴史ある学会で、経済政策全般を研究対象とする経済政策学の構築を志す研究者により、数多の重要な学問的成果が生み出されてきました。こうした偉大な先達を見習い、微力ながら学会発展の為に尽力して参る所存ですので、会員の皆様方にはお力添えをお願い申し上げます次第です。

日本経済政策学会は、全国大会と国際会議をそれぞれ年1回開催しております。2019年は、第76回全国大会と第18回国際会議の開催年となります。前者は日本語、後者は英語を使用言語としており、何れも、重要な政策課題について著名な専門家を招いたシンポジウムが開催されると共に、多くの研究報告が行われております。この他、関東、中部、関西、西日本の4つの部会毎に部会大会を開催しております。また、学会誌として『経済政策ジャーナル』を2003年から、International Journal of Economic Policy Studies (IJEPS)を2006年から刊行しております。これも前者は主として日本語、後者は英語で刊行しております。現在、前者は第15巻第2号(第15巻第1号からオンライン化)、後者はVolume 13 Issue 1を刊行しております。尚、2002年までは『日本経済政策学会年報』を第50号まで毎年刊行しておりました。また、優れた若手研究者を表彰する学会賞を授賞しております。

経済政策学に関する包括的な学会や学術誌は、国際的にもユニークな存在と言えるでしょう。日本経済政策学会は、アジアをはじめ世界の中で経済政策学を研究する中核的組織として、独自の存在感を放っていく事が期待されます。学会の国際化の方針が明確に打ち出され、上記 IJEPS がシュプリンガー社から発行される事となり、また国際会議での研究発表や、IJEPS への論文投稿を促す目的で、全国大会において国際学会での発表の仕方や英語論文の書き方についてのチュートリアルセッションが設けられる等、具体的な取り組みがなされております。

出典：<http://jepa.jp/>

学術賞に関連する情報のリンク：
<http://jepa.jpn.org/about/awards/>

キルギス共和国における送金と実質実効為替レートの因果関係について

概要

本稿では、キルギス共和国における送金の流入と実質実効為替レート（REER）の動的関係を分析する。キルギス共和国は人口630万人の中央アジアの国で、旧ソ連の領土の中で最も貧しい国の1つである（国内総生産（GDP）：75億米ドル、1人あたりのGDP：1219米ドル）。2017年の失業率は7.3%に達し、若者の失業率は15.7%だった。

キルギス共和国の資源不足経済における劇的に悪化した労働市場の状況とカザフスタンとロシアでの労働機会は、大量の労働力の移動と送金の流入をもたらした。キルギス共和国からの移民の総数は、2017年に76万人以上と推定されている。過去10年間、キルギス共和国の経済は、対GDP比率の送金が高い国の中でトップの地位を占めてきた。2005年から2017年までの送金の流入は、GDPの12.7%～32.9%、輸出の33.1%～95.9%、輸入の21.0%～49.0%だった。

この研究は、送金の流入と重要なマクロ経済的な変数との関係が送金への依存度によって異なる可能性があることを示す。分析の結果は、キルギス共和国の場合、実質実効為替レートへの送金からの因果関係がないことを示す。逆に、実質実効為替レートは送金の量と変動率に影響を与えた。



The causality relationship between remittances and the real effective exchange rate: the case of the Kyrgyz Republic

Mirzosaid Sultonov¹

Received: 31 December 2018 / Accepted: 4 July 2019 / Published online: 12 July 2019
© Japan Economic Policy Association (JEPA) 2019

Abstract

We assessed the causality relationship between the inflow of remittances and the real effective exchange rate (REER) of the Kyrgyz Republic, one of the most remittance-dependent economies in the world. We utilised the procedure suggested by Hong [15]. In the first step, we estimated univariate generalised autoregressive conditionally heteroskedasticity (GARCH) models for the logarithmic difference of the variables and saved the centred standardised residuals and their squared values. In the second step, we computed the sample cross-correlation function (CCF) between the standardised residuals and squared standardised residuals. Finally, we calculated Hong's [15] Q-statistic and compared it to the upper tailed critical value of $N(0;1)$ at an appropriate level. Descriptive statistics showed more volatile standard deviations for remittances compared with the REER. The skewness values indicated that increases are more likely to occur for the REER and decreases are more likely to occur for remittances. High kurtosis values suggested the existence of heavy tails in the return distribution. The skewness and kurtosis values showed that the returns are not normally distributed. At the 1% significance level, the Lagrange Multiplier (LM) test for autoregressive conditional heteroskedasticity (ARCH) rejected the null hypothesis of 'no ARCH effects' for both variables. At the 1–5% significance level, the augmented Dickey–Fuller (ADF) test rejected the null hypothesis that a unit root is present in the return series of both variables. The test for a structural break (a supremum Wald test) in the return series, without imposing a known break date, rejected the null hypothesis of no structural break at the 5% and 1% levels for the REER and remittances, respectively. The estimated break date for the REER was May 2015, and for the remittances, it was February 2008. The logarithmic differences of seasonally adjusted real monthly data for the period extending from January 2005 to December 2017 were used in the estimations. While the existing literature has focused mostly on the impact of remittances on the exchange rate (a unidirectional causality in the mean from remittances on the exchange rate), we examined how remittances cause the REER in the mean and variance as well as how the REER causes remittances in the mean and variance. The derived results did

Extended author information available on the last page of the article

not reveal evidence of causality in the mean or variance from the remittances to the REER for the case of the Kyrgyz Republic. That means the changes and volatility of the remittances did not contain useful information for predicting the REER. On the contrary, the REER caused remittances in the mean and variance. That means past information and the volatility of the REER were useful for predicting remittances' returns and volatility.

Keywords Remittance · REER · The Kyrgyz Republic · Causality

Introduction

The Kyrgyz Republic is a Central Asian country with an area of 199,951 square kilometres and a population of 6.3 million.¹ It is one of the poorest countries in the post-Soviet territory with a gross domestic product (GDP) of 7,564.7 million USD and a per-capita GDP of 1,219.8 USD.² According to the International Labour Organization, the unemployment rate of the total population reached 7.3% and youth unemployment was 15.7% in the Kyrgyz Republic in 2017. The United Nations Department of Economic and Social Affairs (DESA) estimates the overall number of emigrants from the Kyrgyz Republic 760.1 thousand people for the same year.

The dramatically deteriorated labour-market conditions in the resource-poor economy of the Kyrgyz Republic and seasonal work opportunities in Kazakhstan and Russia has led to high volumes of labour migration and inflow of remittances. In the last 10 years, the economy of the Kyrgyz Republic has held a leading position among countries with high remittance to GDP ratios. From 2005 to 2017, the inflow of remittances was equal to 12.7% to 32.9% of the GDP, 33.1% to 95.9% of exports, and 21.0% to 49.0% of imports. For the same period, the average annual scale of remittance inflows was 25.1%, 56.6%, and 31.9% relative to the economy's GDP, exports, and imports,³ respectively (see Fig. 1).

The quantity of academic papers covering the relationship between the inflow of remittances and important macroeconomic variables for the case of the Kyrgyz Republic is limited due to an incomplete number of observations regarding the macroeconomic variables that are important for econometric models and poor quality of data.

The researchers who have examined the case of the Kyrgyz Republic have shown that remittances cause economic growth (e.g., [3, 6], affect the macroeconomic variables (e.g., [6, 21], and make the macroeconomic fundamentals of the Kyrgyz Republic dependent on the macroeconomic variables of remittance-sending economies (e.g., [1], [14, 21]).

In this paper, we assessed the causality relationship between the inflow of remittances and the real effective exchange rate (REER) of the Kyrgyz Republic. It will

¹ The National Statistical Committee of the Kyrgyz Republic.

² Data is for 2017. The source is the World Bank.

³ Estimations are based on data from the World Bank.

2020年6月24日

報道機関各位

東北公益文科大学
学生団体 Liga 食品ロス削減チーム

第1回 Liga フードパントリー

～学生主体で県内初の地域の人々の食を支える取り組み～

私たち学生団体 Liga 食品ロス削減チームは2020年7月7日（火）に、東北公益文科大学敷地内にて、学生主体によるプロジェクト「第1回 Liga フードパントリー」を開催します。学生主体でこのような活動を行うのは山形県で初の試みとなります。

学生団体 Liga 食品ロス削減チームは東北公益文科大学から誕生した団体です。新型コロナウイルスの影響によりアルバイトが出来ずに収入が減り、学費が払えなかったり、生活費が払えなかったりと生活に困窮している学生が多くいるのが現状です。そこで私たち Liga はそのような学生を対象に、食品ロスを削減しつつ、困窮している学生に食品を提供出来ないかと考えたのがこの活動を行おうと思ったきっかけです。

今回は30名程度の学生に提供予定ですが、今後も活動を継続し、少しずつ規模や対象を広げていきたいと考えています。

記

- 1 日時 令和2年7月7日（火）①12：25～13：10 ②17：00～18：00
※2回に分けての開催となります。
- 2 会場 東北公益文科大学 本館と教育棟を繋ぐ1階外の渡り廊下
- 3 対象 公益大生（30名程度）
- 4 参加費 無料
- 5 主催 学生団体 Liga 食品ロス削減チーム

【お問い合わせ】

- 地域共創センター TEL：0234-41-1115
- 学生団体 Liga 食品ロス削減チーム 鈴木
Mail：liga.foodloss@gmail.com

食品を募集しています！

東北公益文科大学

Liga食品ロス削減チーム

私たちLigaでは、7月7日(火)大学内にて「第1回 Ligaフードパントリー」を開催することにしました。今回は、新型コロナの影響で生活に困っている学生30名に食品を無償で提供する予定です。その際に渡す食品を企業・個人の方々から分けていただきたいと考えております。現在、ご家庭で余った食品などを大募集しております！！

<募集要項>

- ①生鮮食品以外の食べ物
- ②未開封のもの
- ③賞味期限が2020年7月14日以降のもの

皆で食品ロス0を目指そう！！

<募集期間>

6月23日(火)～7月2日(木)

<受け取り方法>

直接受け取りにお伺いします。(庄内地域)



【大学院発表内容】

日頃より東北公益文科大学大学院の教育・研究活動に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年6月24日（水）情報交換会での本学大学院からの発表は、以下の4件です。

1. 2020年度 秋学期大学院入学生募集（出願受付）について（資料1）
2. 2020年度 大学院オープンキャンパスの開催について（資料2）
3. 2020年度 大学院履修証明プログラム「ハッピーキャリアプログラム」
受講生の募集について（資料3）
4. 著書出版について
本学大学院非常勤講師で元地域共創センター長の小地沢将之が著書を出版
タイトル『まちづくりプロジェクトの教科書』5月28日発行（資料4）

【お問い合わせ】

大学院事務室（鶴岡キャンパス）

TEL) 0235-29-0555 FAX) 0235-29-0556

E-mail) gs@koeki-u.ac.jp

2020年6月24日
東北公益文科大学

東北公益文科大学大学院 2020年度秋学期入学対象入試 出願受付中

東北公益文科大学大学院では現在、2020年度秋学期（2020年10月）入学対象の入学試験の出願を受け付けています。

★ ポイント

- 「一般選抜試験」 「社会人選抜試験」 「社会人特別選抜試験」 の3つの区分で出願を受け付けています。
- 試験区分によっては、書類審査および面接のみの試験となる入学試験もあります。

記

○出願受付期限：2020年 **8月14日(金)** ※消印有効

○入学試験日：2020年 **8月23日(日)**

○合格発表日：2020年 **8月28日(金)**

※本学大学院では、出願者の希望する研究内容と、本学大学院の指導体制・研究環境等に齟齬が生じないように、出願に先立って相互理解を図ることが望ましいと考えており、本学教員との事前面談を受け付けております。

お問い合わせ

大学院事務室（鶴岡キャンパス）
電話）0235-29-0555
メール）gs@koeki-u.ac.jp
受付時間は 平日 9:00～19:30
土曜日 9:00～17:00

2020年6月24日
東北公益文科大学

東北公益文科大学大学院オープンキャンパス 参加者募集

東北公益文科大学大学院では、このたび初めて「大学院オープンキャンパス」を下記のとおり開催します。

★ ポイント

- 東北公益文科大学大学院として初めてのオープンキャンパス開催です。
- 普段はあまり話す機会のない大学院生の研究や生活に関するリアルな話を聞くことができます。

記

- 日 時：2020年 **7月23日(木・祝)** 10:00～15:30
- 会 場：**東北公益文科大学鶴岡キャンパス**
(住所：山形県鶴岡市馬場町 14-1)
- 内 容：本学教員のセミナーでの授業体験、大学院生の研究や院生生活に関する報告、相談コーナー 等
- 定 員：20名(先着順)
- 申込期限：2020年7月20日(月)
- 参加費：無料

お問い合わせ

大学院事務室(鶴岡キャンパス)
電話) 0235-29-0555
メール) gs@koeki-u.ac.jp
受付時間は 平日 9:00～19:30
土曜日 9:00～17:00

Graduate School OPEN CAMPUS

東北公益文科大学 大学院オープンキャンパス

2020年 7月23日 (木・祝)

午前10時～午後3時30分

変化が大きいこの社会について もっと考えたい
地域のために活動するためには何が必要だろう
仕事に活かすことができる理論やスキルを身に付けたい・学び直しをしたい
そうお考えの地域のみなさん、

都市圏に行かなくとも、ここ 鶴岡で学び・研究ができます

公益大大学院をぜひ体感してください

入ったことのないあの気になる建物… どうぞお越しください！

KEY WORD

働きながら学ぶ
(平日の夜間・土曜日)

長期履修制度・オンライン授業

社会人・外国人留学生・定年退職者

キャリアアップ・リカレント教育

当日の内容

教員によるセミナー

院生による研究報告・Q & A

学び方相談会

詳しくは裏面をご覧ください

新型コロナウイルス感染拡大防止のために

- ・事前の参加申し込みが必要です。
- ・7月9日(木)以降(開催前2週間)に新型コロナウイルス感染が拡大している地域を訪れた方、当日 本人および同居のご家族が体調不良の場合は、ご参加いただくことはできません。
- ・マスクの着用と手指消毒をお願いします。

あの建物！
鶴岡公園南側
鶴岡市民プール西隣



東北公益文科大学 大学院事務室 (鶴岡キャンパス)

住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号

電話 0235-29-0555 F A X 0235-29-0556 メール gs@koeki-u.ac.jp

電話受付 月曜から金曜 午前9時00分～午後7時30分 / 土曜 午前9時00分～午後5時00分

申込方法 電話・メール・ファックスのいずれかにて、下記の内容をお知らせください

申込内容 大学院オープンキャンパス

①氏名 ②氏名よみ ③住所 (市区町村名) ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥所属 (企業等)

申込締切 7月20日(月) ※定員20人に達し次第締め切ります。

公益学部生は
キャンパス間シャトルタクシーの利用が無料！

東北公益文科大学大学院オープンキャンパス

7月23日（木・祝）午前10時～午後3時30分

第1部

午前10時00分 セミナー1：研究科長 武田真理子

公益学研究科へようこそ！

10時45分 院生話題提供1

公益大大学院にて探索中！“スクールソーシャルワーカー”その正体とは？

11時00分 セミナー2：教授 スルトノフ ミルゾサイド

グローバル化による新たな機会と課題

11時45分 院生話題提供2

自治体職員が大学院生に。公務員のリアルな大学院生活

12時00分 院生話題提供3

～15分

人生にもうイッコ新しい土台ができる。公益大大学院のススメ

第2部

午後 1時15分 **大学院での学び方**

公益学部を卒業して入学を希望する方や、働きながら学びたい・研究したいという方が利用できる様々な制度紹介します！

1時45分～3時00分 セミナー3：教授 伊藤眞知子

「ハッピーキャリアを描くには（仮）」

人生100年時代…わたしたち一人ひとりにとって、仕事と生活のバランスのとれた充実した人生を展望することが必要になっています。「ハッピーキャリア」という、新しい時代のキャリア形成のあり方を学びましょう

時間を問わずいつでもどうぞ（要事前申し込み）

パネル展示

教員紹介・修了生研究紹介 等

院生Q & A

どのような院生生活を送っているのか
院生に直接聞くことができます

学び方相談会

教職員が個別に相談に応じます



駐車場

鶴岡タウンキャンパスには、本学大学院専用の駐車場はございません。
本学大学院に最も近い駐車場は「鶴岡公園西駐車場」「鶴岡公園中央駐車場」（いずれも鶴岡市が管理）の2箇所です。

飲食

キャンパス内にカフェテリアはございません。近隣の飲食店をご利用ください。

当日開催のほかセミナー

当日、午後1時から3時に、キャンパス内別室で、下記のセミナーをオンラインにて視聴することができます。
ご希望の方は、お問い合わせください。

「今こそ！自分らしく働き・生きる一可能性を広る新たなステップへの学び」

もっと自分らしく働きたい、仕事も育児ももっとしたい、仕事がしたい、何か自分を活かせることをしたい、キャリアアップを考えているといった女性や企業等の人事担当者に、学び直しの大切さとリカレント教育の可能性を知っていただきます。関西地区3大学・東京都内1大学・公益大が、合同でオンラインパネルディスカッションを行います。

2020年6月24日

東北公益文科大学

2020年度大学院履修証明プログラム 「ハッピーキャリアプログラム」受講生の募集

「履修証明プログラム」は、学生以外の方を対象に、教育機関等が一定の教育計画の下に編成した総時間数60時間以上の体系的な学習プログラムを提供するものです。

東北公益文科大学大学院では、昨年度に引き続き、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科と連携し、女性を対象としたビジネススキル養成プログラムを開講します。

★ ポイント

- プログラム修了者には、学校教育法に基づく「履修証明書」が交付されます。
- 修得した単位は、**本学大学院に入学した際、修了単位に認定**されます(上限10単位まで)。
- 庄内にいながら、ビジネススクールの実践的な学びに触れ、多くの仲間とともにビジネススキルを培い、自身のキャリアを見つめ直すことができます。

記

ハッピーキャリアプログラム 女性のビジネススキル養成 大学連携オンラインコースは、「キャリアデザイン」「人的資源とキャリア開発」「モチベーション&リーダーシップ」「国際ビジネスコミュニケーション論」「経営戦略論」の5科目で編成し、かつ、フォローアップも加えた学習プログラムです。

○受講対象：本学修士課程出願資格を満たしている、原則2年以上の就業経験を有する女性

○受講費用：129,340円

○出願締切：2020年8月21日(金) ※所定の出願書類様式有り。

★本プログラムに関する説明会を、2020年7月23日(木・祝)13時15分から15時、東北公益文科大学鶴岡キャンパス(鶴岡市馬場町14-1)にて開催します。

お問い合わせ・募集要項請求先
大学院事務室(鶴岡キャンパス)
電話) 0235-29-0555
メール) gs@koeki-u.ac.jp
受付時間は 平日 8:30~17:00



令和2年度（2020年度）
大学院履修証明プログラム

自分らしく
働き、生きる



ハッピーキャリア
プログラム

女性のビジネススキル養成
大学連携オンラインコース



東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

お問い合わせ

東北公益文科大学 大学院事務室

／ 開室時間 月曜～金曜 8時30分～19時30分 土曜 8時30分～17時00分

住所：997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号

／ 電話：0235-29-0555

／ メール：gs@koeki-u.ac.jp

ハッピーキャリアプログラム 女性のビジネススキル養成 大学連携オンラインコース 女性の活躍がこれからの企業を変える、社会を変える

子育てと仕事を何とか両立しているだけ…。子育ては楽しい、だけど自分のためにも何かしたい…。いずれは正社員として働きたい…そのためには何かしなくては…。そんな焦りと漠然とした不安から、自信を持ってキャリアアップする日が楽しみになるような準備を始めませんか。



関西学院大学専門職大学院
経営戦略研究科 教授 大内 章子

関西学院大学専門職大学院で300人以上が修了した「ハッピーキャリアプログラム」のエッセンスをまとめたプログラムを山形県内で開講しています。山形県に居ながらにして、ビジネススクールの実践的な学びに触れ、多くの仲間を得て、自身のキャリアの見通しを持つことにつながります。ぜひ受講ください！



東北公益文科大学
教授・本プログラムコーディネーター 伊藤 真知子



プログラムの目的・概要

コミュニケーション力やモチベーション・マネジメントなどのベーシックなスキル、経営知識・技能や、課題解決力など企業の戦力となる高度ビジネス力を身に培い、自身のキャリアに活かすことができるようになります。また、授業は、オンライン会議システムを用いて複数の大学と接続し、リアルタイムで双方向のディスカッションを交えながら行うため、地域をまたいだグループワークの実践を通して、オンラインワークへの適応と、多様な価値観を融合させて状況変化へ対応する適切な判断力・意思決定力を身に付けることも可能です。

対象

原則2年以上の就業経験を有する女性

モチベーション・マネジメントやリーダーシップなどビジネスに関する基本的な知識・スキルを身に付けたい方、キャリアアップを目指す方、管理職の方・管理職候補の方、人事担当者等
※履修資格については、本紙最終ページにてご確認ください

カリキュラム

各科目のシラバスをご覧になりたい方は、本学大学院事務室までお問い合わせください。

キャリアデザイン

船越 伴子

オンライン授業

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師 / 株式会社ヒューマンラボ 取締役
自分にとっての働く意味を考え、より好ましいライフキャリアをデザインします。最終的には「アクションプラン」につなげ、必ず実現させる決意を固めます。

国際ビジネスコミュニケーション論

酒井 章

面接(対面)授業

本学大学院 非常勤講師 / the creative journey 代表

グローバルでのマーケティング・コミュニケーションのマインドとスキルを、実践事例等を交えワークショップ形式で学びます。デザイン思考・アート思考についても学び、今後の自分のキャリアビジョンをつくります。

人的資源とキャリア開発

大内 章子

オンライン授業

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授

重要な経営資源である「人」をテーマに、従業員がどのようにモチベーションを高め、高度な技術を習得・発揮し、キャリアを築いていくのかなど、基本的な理論や概念を学習します。

経営戦略論

倉持 一

オンライン授業

東北公益文科大学 准教授

企業経営にとって重要な課題である経営戦略を理論的かつ実践的に学び、ディスカッション、事例検証などを通して、課題探知能力、分析能力、リフレーミング(再構築)力、提案力などを獲得することを目指します。

モチベーション&リーダーシップ

大内 章子

オンライン授業

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授

仕事の成果に影響を与える自らのモチベーションをいかにマネジメントするか、関わる人々にモチベーション高く仕事をしてもらうためにリーダーシップをいかに発揮するか について、実習を通して学びます。

フォローアップ

伊藤 真知子 ほか

面接(対面)授業

本プログラムの受講生とともにキャリアについて共に考えたり、アクションプランの作成の支援等を行います。また、プログラム受講にあたって最低限必要となるICTスキルを身に付けます。

遠方への移動のために
時間とお金をかけずとも
県内でビジネススクールの
実践的な学びに
触れることができる



自分自身を振り返り
仕事での役割や
仕事で得られるものに
気づくことができた

オンライン授業を通して
多様なバックグラウンドの方と
話ができることが良い
意欲が高い女性と
交流できて刺激になる



日本経済新聞

令和2年2月17日号に
本プログラムが掲載されました！

スケジュール

スケジュールは、天候や通信状況等により変更となる可能性があります。

OL ... オンライン授業

科目	日程					時間
経営戦略論	9/23 (水)	9/30 (水)	10/7 (水)	10/14 (水)	10/21 (水)	19時00分～20時30分
	10/28 (水)	11/4 (水)	11/11 (水)	11/18 (水)	11/25 (水)	
	12/2 (水)	12/9 (水)	12/16 (水)	12/23 (水)	1/13 (水)	
キャリアデザイン OL	10/7 (水) 13時00分～16時00分		10/14 (水)	10/21 (水)	10/28 (水)	10時45分～13時45分
人的資源とキャリア開発 OL	12/5 (土)	12/19 (土)	1/9 (土)	1/16 (土)		13時00分～16時00分
モチベーション&リーダーシップ OL	12/23 (水)	1/13 (水)	1/20 (水)	2/3 (水) 10時45分～16時30分		10時45分～13時45分
国際ビジネスコミュニケーション論	2/11 (木・祝) 9時00分～17時50分		2/12 (金) 18時00分～21時10分			左記参照
	2/13 (土) 9時00分～17時50分		2/13 (日) 9時00分～14時30分			
ガイダンス・フォローアップ・修了式	調整中 / 受講決定者にお知らせします					

受講方法

本学大学院「履修証明プログラム」に出席し、入学許可を得て「科目等履修生」として受講します。全ての内容を修得した方には、本学大学院の履修証明書を交付します。

受講形式には「フルパック受講」と「ハーフパック受講」の2種類があります。ハーフパックは、「キャリアデザイン」「人的資源とキャリア開発」「国際ビジネスコミュニケーション論」の3科目のみです。

受講場所

本学鶴岡キャンパス
教室にてオンライン授業を実施します。
仕事により日程の都合がつかない場合は
ご相談ください。

受講費用等

受講手続き期間内に、下記の合計金額を納付ください。分納や支払時期変更をご希望の方は、ご相談ください。

	フルパック受講	ハーフパック受講
入学金	20,000円	20,000円
科目等履修料	108,000円	65,000円
保険料	1,340円	1,340円
合計	129,340円	86,340円

◆受講費用や図書以外に必要なもの

- ・レポート作成、他大学の受講者との交流等のために、自宅等にてパソコン・インターネット・メールが使用できるように整備してください。
(タブレット・スマートフォンのみでの受講については、その端末でWordなどのアプリケーションの操作が十分にできる方に限ります。)
- ・大学院事務室開室時間は、学内に限りパソコンを貸し出します。またプリンターの使用も可能です。

- ・振込手数料は受講者の負担です。
- ・参考書は本学の図書館または大学院事務室に所蔵しています。
教科書を含む学習にあたり必要な物品は各自購入してください。

1. 履修資格

原則2年以上の就業経験を有する女性で、下記のいずれかの要件を満たす方とします。高校卒業、短期大学卒業等の方で受講を希望される方、下記(5)(6)(7)のいずれかにより出願を希望する方は、2020年8月7日(金)までを目安に本学大学院事務室に申し出てください。

- (1)大学を卒業した者、および2020年9月卒業見込みの者
- (2)学位授与機構において、学士の学位を授与された者、および2020年9月までに授与される見込みの者
- (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2020年9月末までに修了見込みの者
- (4)文部科学大臣の指定した者(大学又は短期大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者で、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者等)
- (5)大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (6)本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020年9月末までに22歳に達する者(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業した者や外国大学日本分校等を修了した者など大学卒業資格を有していない者で、本大学院において審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、かつ2020年9月までに22歳に達する者)
- (7)その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 日程(下記はすべて2020年/出願および受講手続きは、期間内最終日の消印有効)

出願期間	7月13日(月)～8月21日(金)	選考結果通知	8月28日(金)
選考期間	8月24日(月)～8月27日(木)	手続期間	8月28日(金)～9月11日(金)

3. 募集人数 10名程度

4. 出願方法

次の書類等を取り揃え、郵送にて提出または本学大学院事務室開室時間内に持参してください。出願者が日本国籍を有しない場合には、本学が指定する書類を追加で提出いただく場合がございます。

- ①履修証明プログラム受講願書(ホームページからもダウンロード可能)
- ②写真(縦4cm×横3cm/カラー/上半身、脱帽、正面、背景無地/最近3か月以内に撮影/写真の裏に氏名を記入して願書に貼付)
- ③出願資格に係る最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書等 ※出願時に提出できない方は、出願前に大学院事務室に電話で連絡してください
- ④検定料3,000円

※郵便局に備え付けの振込用紙にて、郵便局から下記口座に納付し「お客様控」の写しを貼付

口座番号: 02200-2=85251 加入者名: 学校法人東北公益文科大学

5. 選考方法

書類審査等により選考を行い、正科生の教育研究に支障のない範囲で、学長が入学及び履修証明プログラムの受講を許可します。

選考に際して面接を実施することもあります。面接を実施する場合には、出願者に別途お知らせいたしますので、必ず受けてください。(面接を受けない時には、履修証明プログラムの受講を許可しない場合があります。)

選考の結果は出願者に文書で通知します。また、受講を許可された方には手続関係書類も郵送します。

6. 受講のための手続き 受講が許可された方は、手続期間内に本紙前ページに記載の受講費用を納付するとともに、必要書類を提出してください。

7. 単位の認定 単位の認定は、正科生と同様の方法(試験、レポート、研究報告等各科目指定の方法)で行います。

8. 在籍期間等 在籍期間は講義初回日から2021年(令和3年)3月31日までです。受講者に対しては「科目等履修生証」を発行します。

9. 科目等履修後に本学大学院修士課程へ正科生として入学する場合

科目等履修生として単位を修得した後に本学大学院修士課程へ正科生として入学した場合、申請により「国際ビジネスコミュニケーション論」および「経営戦略論」は、修得した単位を修了に必要な単位として認定し、大学院入学後に授業料から減免されます(上限額あり)。

2020年6月24日
東北公益文科大学

東北公益文科大学教員の著書出版について
『まちづくりプロジェクトの教科書』

本学大学院非常勤講師 小地沢将之が執筆した「まちづくりプロジェクトの教科書」が出版されました。

◇ 書籍名：『まちづくりプロジェクトの教科書』

◇ 著者：小地沢将之（東北公益文科大学大学院非常勤講師、宮城大学
事業構想学群准教授、元東北公益文科大学地域
共創センター長）

◇ 発行所：森北出版株式会社（<https://www.morikita.co.jp/books/book/3431>）

◇ 発行日：2020年5月28日

（書籍情報 森北出版株式会社 HP より）

ただ「まちづくり」といっても、地域によって強みや弱みはさまざまです。そのため、いろいろなことを調べてみても、「結局のところ自分たちの場合にはどうすればよいかわからない」という方も多いのではないのでしょうか。本書は、そんな皆さんの道しるべになります。

まちづくりプロジェクトの始めかたから終わるかたまで、ポイントをわかりやすく解説しています。体系化された知識や方法を身につけ、個別の事情に応じた計画が立てられるようになります。

さらに、近年盛んに取り組まれている、市民やNPO、自治体などが連携した協働によるまちづくりについても解説しています。まちづくりに取り組む市民や自治会、NPOなどの方々だけでなく、活動の支援や市民協働に取り組む自治体の方々にもおすすめです。

さまざまな活動・支援に取り組んできた著者だからこそ伝えられるノウハウが詰まった、これまでにない一冊です。

お問い合わせ

小地沢 将之 kochizawam@myu.ac.jp へ

2020年6月24日
東北公益文科大学

令和2年度 ボランティアコーディネーション力3級検定

このたび東北公益文科大学では、5年目を迎えました「ボランティアコーディネーション力3級検定」を実施いたします。

- ・本検定は酒田市社会福祉協議会からの受託事業として、酒田市ボランティア・公益活動センター（ボラポートさかた）との連携・協働により実施します。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は日本ボランティアコーディネーター協会として初めてのオンラインによる出講を準備していただき、リモートによる「直前研修」の開催、対面式による「検定試験」の受験となります。

記

- 日 時：2020年 **9月12日(土)**
直前研修 9:30～15:30 検定試験 16:00～17:00
《事前学習会》
8月12日(水) 18:30～20:30
- 会 場：**東北公益文科大学酒田キャンパス**
教育研究棟3階大教室
- 定 員：先着30名（定員になり次第、受付を終了させていただきます。）
- 受験料：6,520円（税込）（検定料4,100円、テキスト代2,420円）
- 申込方法：参加申込書によりFAX、郵送、メール、持参にてお申し込みください。
- 申込期限：2020年7月20日(月)

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により、中止とする場合があります。その他、詳しい注意事項はHPをご確認ください。

お問い合わせ
地域共創センター
電話) 0234-41-1115